

説明先：北地区

開催日時：令和元年6月14日（金）18時30分～19時30分

説明会場：北コミュニティセンター

出席者：12名

Q1. 現本庁舎敷地に建設した方が建設費がかからないのではないか？

- どの候補地に建設しても建築工事費は大きく変わらないが、現庁舎で建設するには、来庁者用駐車場の代替地を確保しなければならない。また、議会棟側を解体して、駐車場部分と合わせた敷地で建設してはどうかとのご意見もあるが、議会機能の代替施設を確保する費用や解体費も上乘せされる。
- 市営桂町球技場であれば更地のため、その他の経費は特にかからないが、除雪センター敷地では現除雪センターの代替費用、市営住宅潮見団地では建て替えの計画があるが、入居中のため経費も時間もかかる。

Q2. 海拔は現庁舎位置で6m、金市舘跡地で5mということで、現在よりも低いところに建設するのはどうかと思う。

- 確かに海拔は金市舘ビル跡地周辺敷地の方が低くなることから、津波災害の危険度に懸念があるが、浸水想定区域には入っていない。今後、津波ハザードマップの見直しがあると思うが、まだまだ先になると思われる。
- 地震の危険度は高台も下エリアも同様であると考え。やはり津波災害の対応をどのように考えるか。
- これまで網走市は地震が少なく津波被害もなく安心と言われてきたが、想定外の津波に対してもある程度の備えは必要だと考えている。
- 津波の被害を抑えるために、高層の建物として上階を一時避難の機能を持たせてはどうかと考えている。

Q3. 例えば1・2階以下は浸水しても、3階以上に重要な設備を設けるから大丈夫といったことを示してもらえると安心できると思う。また、大規模停電の際など市役所を避難所として使用できれば良いと思う

- 場所や建物規模が決まるまで詳細な議論ができないが、現段階では例えば1・2階が浸水したとしても、一時避難スペースやメインコンピューター、非常時発電設備などは上階に設置することで対応できると考えている。
- 一時避難所として、何人を救えることができるのか以前に質問があったが、収容規模は今後検討を行っていく。また、基本的には一時避難所として考えており、避難が長期間に及ぶ場合にはコミセンや体育館などに移っていただくということを考えており、そうすることで収容スペースの大きさが求められると考えている。

Q4. 津波の緊急避難と言うが、津波の最大高さの想定はあるのか？はっきり想定浸水高さを示すことはできないかもしれないが、例えば2階3階の高さの波が来ても大丈夫だと説明しなければ、みんな金市館ビル跡地は駄目だとなってしまう。

- 具体的な浸水想定高さを示していない。また、建物規模もこれからの検討となり、何階建てになるか現在は示すことができない。しかし、金市館ビル跡地周辺敷地に建設する場合には、高層になることが想定されるため、何階に一時避難スペースを設けるなどの議論を今後行っていく。

Q5. 駐車場はようになるか？

- 現在、らるあーと朝市等で使用している金市館ビル跡地を、来庁者用駐車場として使用し、閉庁時や土日は現在と同様にイベント広場として使用したいと考えている。
- 現庁舎の駐車場部分と同等かそれ以上の台数を用意できると考えている。
- 現庁舎跡地は公用車駐車場として使用したいと考えている。

Q6. 国の財政支援には間に合うのか？

- 一生懸命取り組まなければならないが、お示したスケジュールで進むことができれば間に合うと考えている。
- この支援制度は2020年度までに建設したものが対象であり、以前から建て替え事業を進めていた自治体でなければ対象になることができなかった。そのため、全国的に国に要望した結果、2020年度までに実施設計に着手したものとして経過措置が出された。言い換えればそこがリミットであると認識しており、そこに間に合うように進めたい。

Q7. 現在は市役所に行った際に警察署や税務署にも歩いて行ける。

- 市役所、警察署、税務署へ一連の流れで歩いていた方には不便となってしまう。

Q8. 他の耐震診断NG施設はどうするのか？

- 総合体育館は小学校等の体育館、市民会館はエコーセンターや他町のホールを借りる、消防本部庁舎は潮見の南出張所と代替施設があるが、市役所は代替施設がない。
- 近い将来、優先度を決めて考えていかなければならないが、総合体育館、市民会館は他の関連団体の意見交換が必要となり、消防本部庁舎は大空町との協議や広域化の課題もあることから、そこを協議していかなければならない。